

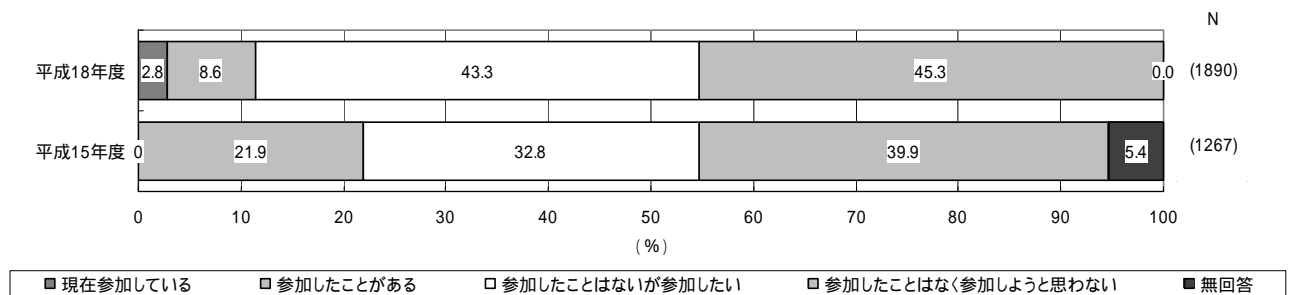
## 7. 環境保全活動を行う民間団体への参加(問7)

### 7-1 参加の有無と参加意向

環境保全活動を行う民間団体にこれまで参加したことがある人は約1割、参加したいとの意向を持つ人は約4割ある。参加率が高いのは、性別では男性、年齢別では50代以上、職業別では農林漁業、商工販売サービス、会社役員・会社経営、地域別では北陸、九州、年規模別では10万人未満及び町村である。

環境保護活動を行う民間団体での活動等への参加の有無と参加意向を聞いたところ、「現在参加している」が3%、「参加したことがある」が9%、「参加したことはないが参加したい」が43%、「参加したことはなく参加しようと思わない」が45%である。

図表 7-1 民間団体への活動参加の有無(全体、時系列)



性別では、「現在参加している」「参加したことがある」「参加したことはないが参加したい」で男性(4%、9%、46%)の方が女性(2%、8%、40%)より高くなっている。

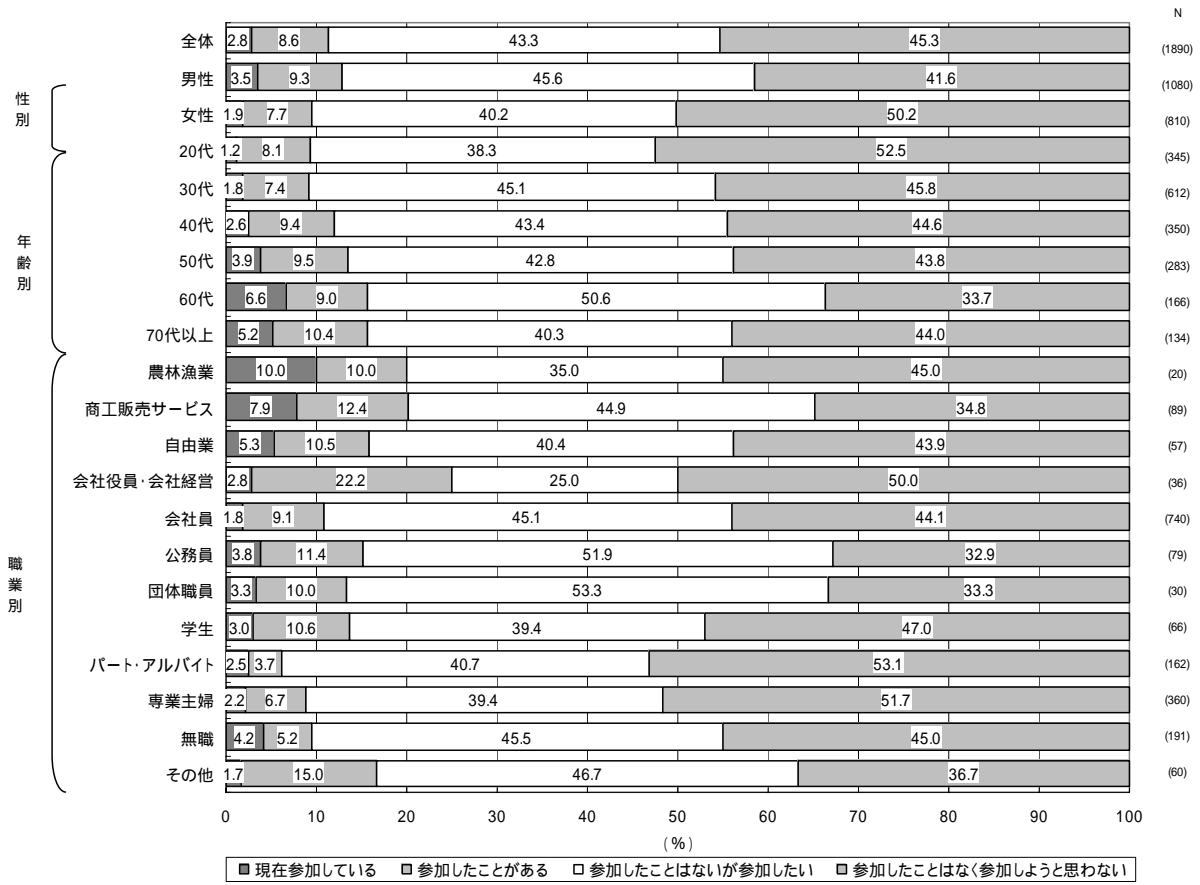
年齢別では、60代、70代において「現在参加している」(7%、5%)が高く、次いで50代で4%となっている。参加意向が最も高いのは、60代の51%であり、次いで、30代で45%となっている。一方で20代、30代において「現在参加している」は低くなっている(1%、2%)。また参加意向も20代で38%と最も低くなっている。「参加したことはなく参加しようと思わない」が(70代を除き)若ほど高いポイントとなる。

職業別では、農林漁業、商工販売サービスで「現在参加している」(10%、8%)が高く、次いで自由業(5%)が高い割合になっている。会社役員・会社経営で「参加したことがある」が(22%)で高い。団体職員、その他で「参加したことはないが参加したい」(53%、47%)が高く、パート・アルバイト、専業主婦、会社経営・役員で「参加したことはなく参加しようと思わない」(53%、52%、50%)が高くなっている。

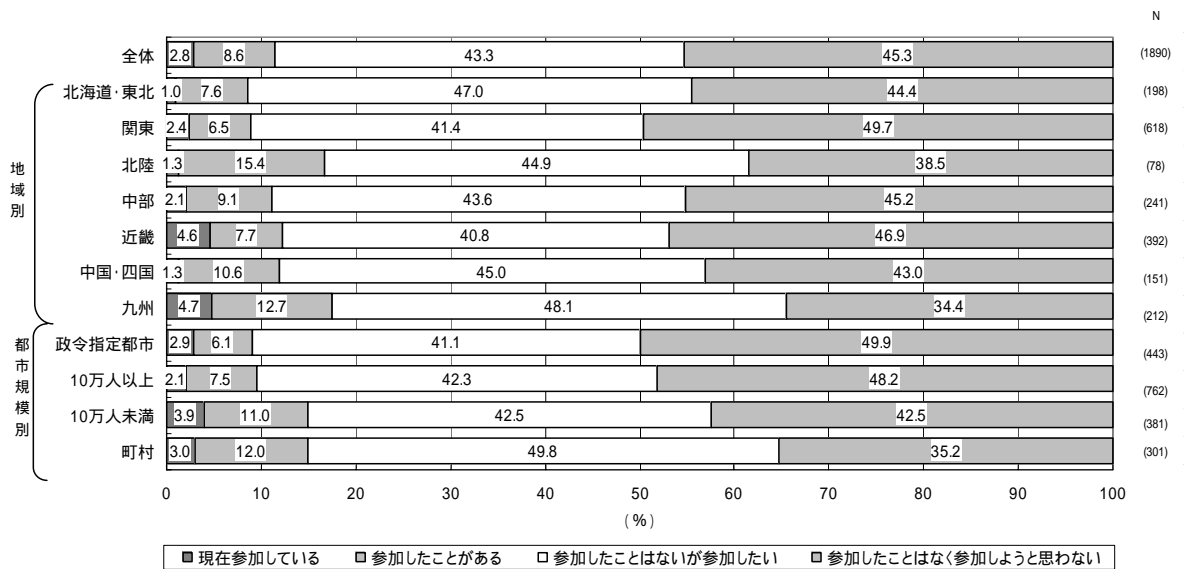
地域別では、近畿、九州で「現在参加している」(5%、5%)で高い。また、北陸、九州で「参加したことがある」(15%、13%)で高く、九州で「参加したことはないが参加したい」(48%)が高い。

都市規模別では、「参加したことがある」が10万人未満の都市(11%)、町村(12%)で高い。「参加したことはなく参加しようと思わない」は都市規模が大きくなるにつれてポイントが高くなるという傾向がある。

図表 7-2 民間団体への活動参加の有無(性別、年齢別、職業別)



図表 7-3 民間団体への活動参加の有無(地域別、都市規模別)

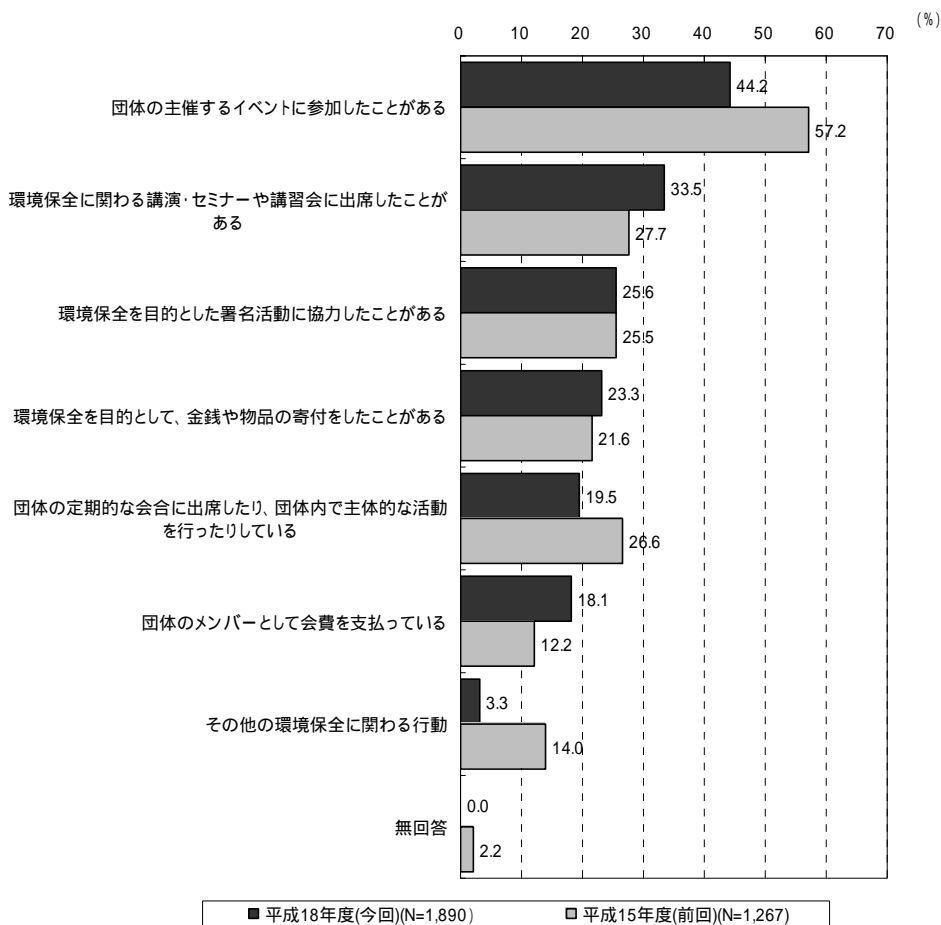


## 7-2 参加の内容

参加の内容としては、「団体の主催するイベントに参加したことがある」、「環境保全に関わる講演・セミナーや講習会に出席したことがある」が3割を超える。

参加の内容としては、「団体の主催するイベントに参加したことがある」が44%と高い。以下、「環境保全に関わる講演・セミナーや講習会に出席したことがある」(34%)、「環境保全を目的とした署名活動に協力したことがある」(26%)、「環境保全を目的として、金銭や物品の寄付をしたことがある」(23%)、「団体の定期的な会合に出席したり、団体内で主体的な活動を行ったりしている」(20%)となっている。

図表 7-4 参加した活動・行動の内容(全体、時系列)



性別では、「団体の主催するイベントに参加したことがある」が女性(48%)の方が男性(42%)より高い。「環境保全に関わる講演・セミナーや講習会に出席したことがある」が男性(38%)の方が女性(25%)より高い。

年齢別では、20代、40代で「団体の主催するイベントに参加したことがある」(47%、62%)が高く、30代で低くなっている(32%)。「団体の定期的な会合に出席したり、団体内で主体的な活動を行ったりしている」が60代、70代以上(27%、43%)で高くなっている。

職業別では、自由業、会社経営・会社役員、学生、パート・アルバイト、専業主婦、無職で「団体の主催するイベントに参加したことがある」(44%、44%、44%、60%、53%、44%)で高くなっている。(年齢別、職業別、地域別はサンプルが少ない層があるので結果は参考としてとどめられたい。)

図表 7-5 参加した活動・行動の内容(性別、年齢別、職業別)

単位: %

	性別			年代別							職業別										
	全体	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	農林漁業	商工販売サービス	自由業	会社役員・会社経営	会社員	公務員	団体職員	学生	パート・アルバイト	専業主婦	無職	その他
調査数(N)	215	138	77	32	56	42	38	26	21	4	18	9	9	80	12	4	9	10	32	18	10
団体の主催するイベントに参加したことがある	44.2	42.0	48.1	46.9	32.1	61.9	44.7	38.5	42.9	0.0	38.9	44.4	44.4	43.8	41.7	0.0	44.4	60.0	53.1	44.4	50.0
環境保全に関わる講演・セミナーや講習会に出席したことがある	33.5	38.4	24.7	28.1	32.1	28.6	34.2	26.9	61.9	25.0	38.9	22.2	44.4	32.5	41.7	25.0	33.3	20.0	25.0	55.6	30.0
環境保全を目的とした署名活動に協力したことがある	25.6	25.4	26.0	21.9	23.2	35.7	21.1	19.2	33.3	0.0	27.8	11.1	33.3	22.5	58.3	50.0	11.1	10.0	31.3	27.8	20.0
環境保全を目的として、金銭や物品の寄付をしたことがある	23.3	25.4	19.5	25.0	21.4	28.6	21.1	15.4	28.6	25.0	33.3	33.3	44.4	20.0	16.7	25.0	22.2	10.0	18.8	33.3	20.0
団体の定期的な会合に出席したり、団体内で主体的な活動を行ったりしている	19.5	20.3	18.2	9.4	14.3	19.0	18.4	26.9	42.9	50.0	22.2	0.0	22.2	18.8	16.7	25.0	11.1	20.0	18.8	27.8	20.0
団体のメンバーとして会費を支払っている	18.1	17.4	19.5	18.8	10.7	11.9	21.1	26.9	33.3	25.0	11.1	33.3	33.3	13.8	25.0	0.0	11.1	20.0	18.8	27.8	20.0
その他の環境保全に関わる行動	3.3	2.9	3.9	6.3	1.8	7.1	2.6	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	1.3	16.7	0.0	11.1	0.0	6.3	0.0	0.0

地域別では、北海道・東北、北陸で「団体の主催するイベントに参加したことがある」(77%、54%)で高く、一方で関東(38%)、近畿(42%)、九州(38%)が低くなっている。また、「環境保全に関わる講演・セミナーや講習会に出席したことがある」は関東(36%)、北陸(38%)、近畿(42%)が高く、北海道・東北(24%)、九州(22%)が低い。「団体の定期的な会合に出席したり、団体内で主体的な活動を行ったりしている」が近畿(27%)、中国・四国(28%)で高く、中部(11%)、九州(11%)で低い。

都市規模別では、「団体の主催するイベントに参加したことがある」が政令指定都市(55%)で最も高くなっているが、町村(33%)で最も低くなっている。一方で、「団体の定期的な会合に出席したり、団体内で主体的な活動を行ったりしている」は町村(24%)で最も高く、政令指定都市(18%)で最も低くなっている。

図表 7-6 参加した活動・行動の内容(地域別、都市規模別)

単位: %

	全体	地域別							都市規模別			
		北海道・東北	関東	北陸	中部	近畿	中国・四国	九州	政令指定都市	10万人以上	10万人未満	町村
調査数(N)	215	17	55	13	27	48	18	37	40	73	57	45
団体の主催するイベントに参加したことがある	44.2	76.5	38.2	53.8	44.4	41.7	44.4	37.8	55.0	46.6	42.1	33.3
環境保全に関わる講演・セミナーや講習会に出席したことがある	33.5	23.5	36.4	38.5	33.3	41.7	33.3	21.6	32.5	42.5	28.1	26.7
環境保全を目的とした署名活動に協力したことがある	25.6	29.4	27.3	30.8	14.8	22.9	16.7	35.1	35.0	28.8	17.5	22.2
環境保全を目的として、金銭や物品の寄付をしたことがある	23.3	23.5	25.5	23.1	29.6	14.6	11.1	32.4	17.5	27.4	17.5	28.9
団体の定期的な会合に出席したり、団体内で主体的な活動を行ったりしている	19.5	17.6	20.0	23.1	11.1	27.1	27.8	10.8	17.5	17.8	19.3	24.4
団体のメンバーとして会費を支払っている	18.1	11.8	21.8	7.7	7.4	22.9	22.2	18.9	20.0	20.5	17.5	13.3
その他の環境保全に関わる行動	3.3	0.0	1.8	7.7	0.0	4.2	0.0	8.1	0.0	4.1	1.8	6.7

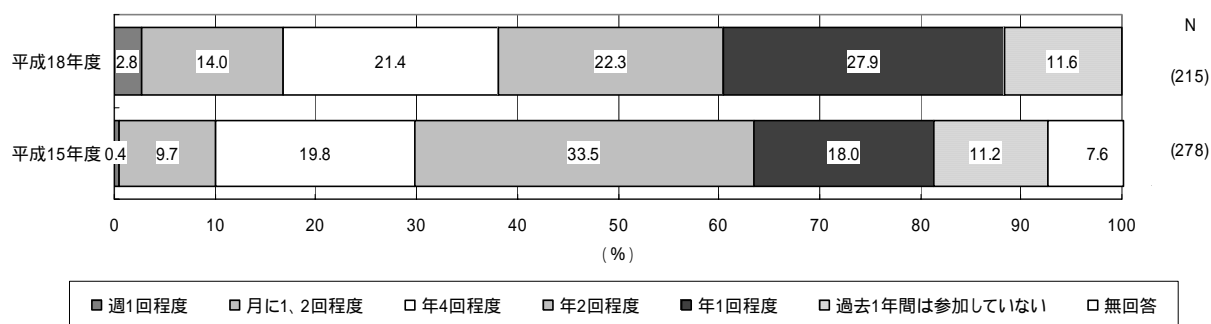
### 7-3 参加の程度

民間団体の環境保全活動への参加頻度は、「年1回程度」が最も多くなっている。

民間団体の環境保全活動参加経験者の1年間における参加頻度は、「年に1回程度」(28%)が最も多く、これに「年に2回程度」(22%)、「年に4回程度」(21%)が続く。

前回調査と比較すると、「週に1回程度」(0.4→3%)が増加し、「年に2回程度」(34→22%)が減少している。

図表 7-7 環境保全活動参加の程度(全体、時系列)

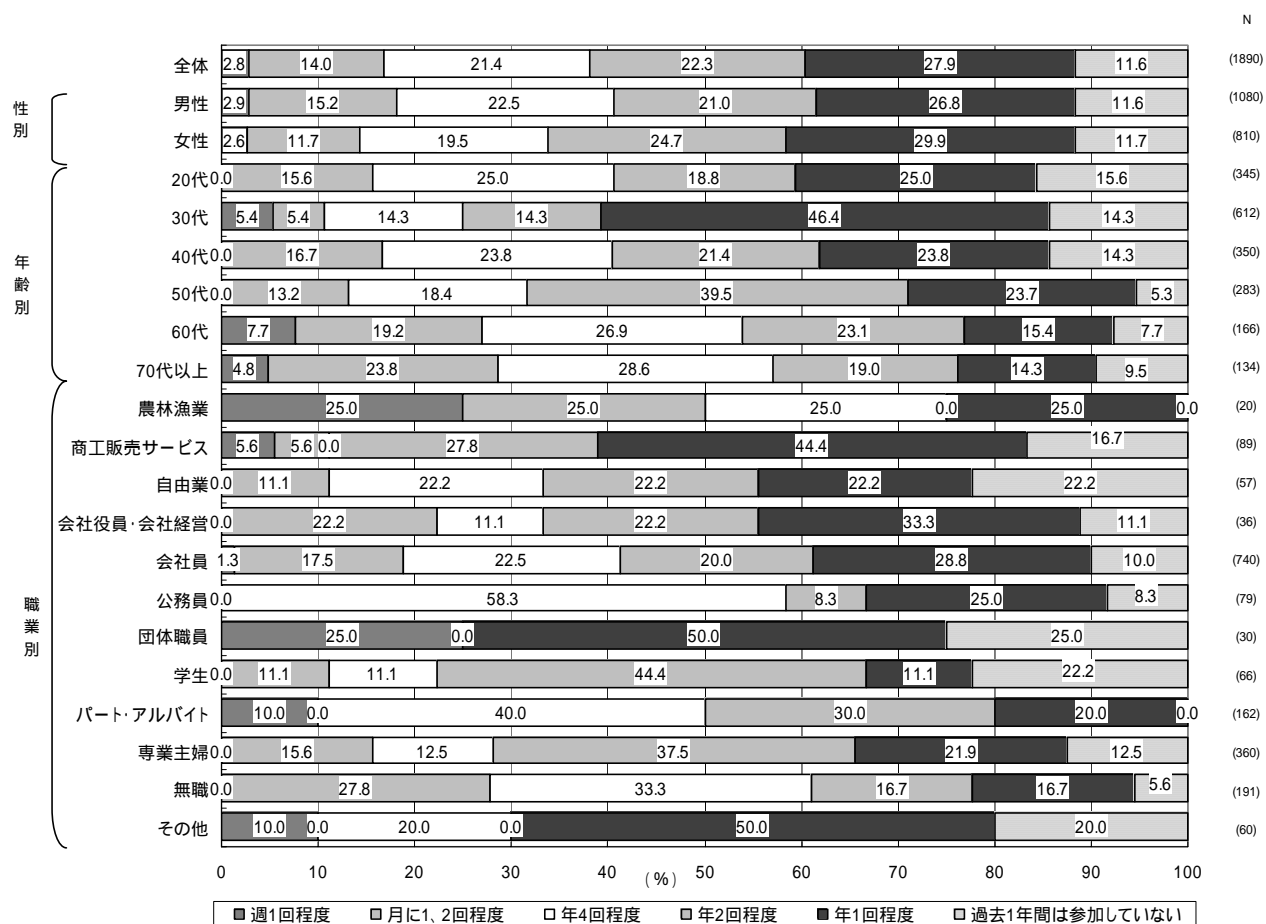


性別では、「月に1、2回程度」「年4回程度」が男性(15%、23%)の方が女性(12%、20%)より多い。「年2回程度」が女性(25%)の方が男性(21%)より多い。

年齢別では、「月1、2回以上」(「週1回程度」と「月に1、2回程度」の計)は全体の17%に対して、70代以上が29%で最も高くなっている。一方で、30代は11%にとどまっている。

職業別では、「月1、2回以上」参加しているのは無職が最も高く28%である。次いで、団体職員が25%と続く。

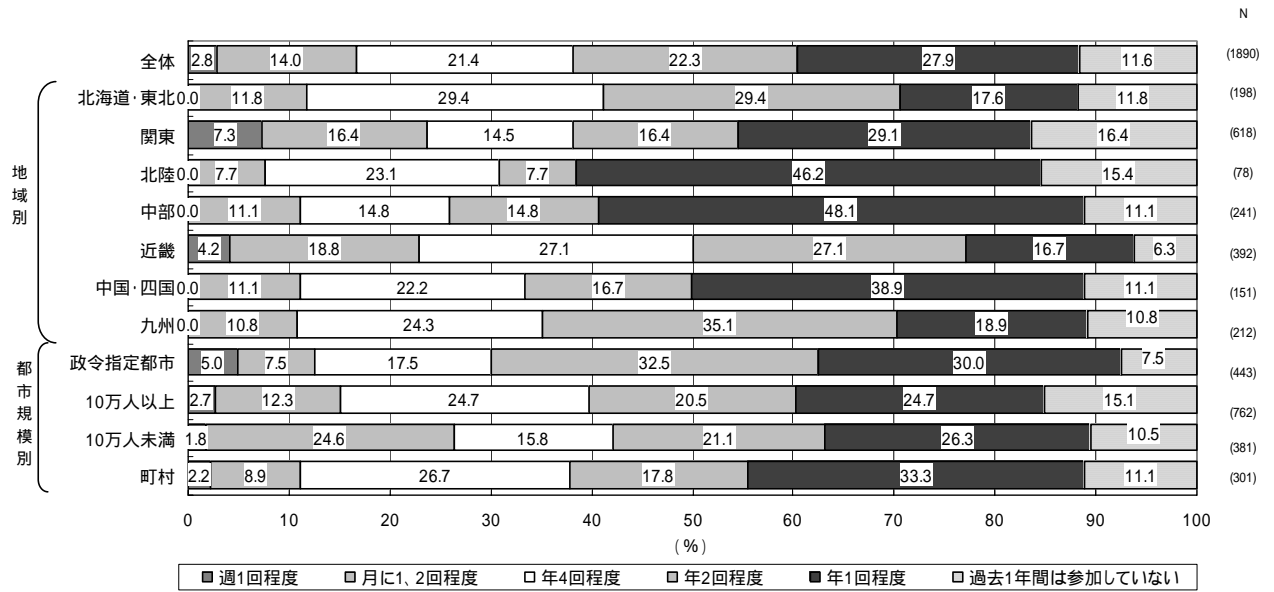
図表 7-8 環境保全活動参加の程度(性別、年齢別、職業別)



地域別では、「月1,2回以上」参加しているのは、関東(24%)が最も高く、近畿(23%)がそれに次いでいる。一方で、北陸(8%)が低くなっている。

都市規模別では、「週1回程度」が政令指定都市(5%)、10万人以上の都市(3%)で高い。「過去1年間参加していない」が町村(33%)で最も高い。

図表 7-9 環境保全活動参加の程度(地域別、都市規模別)





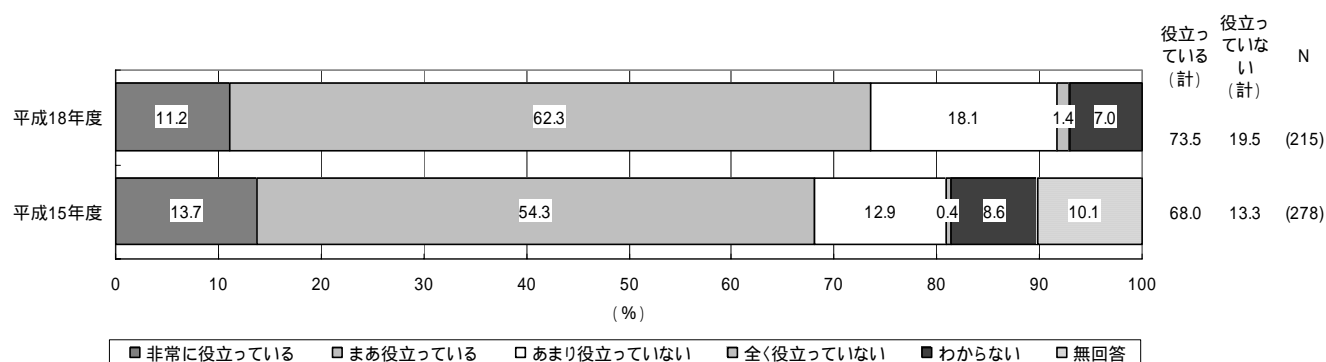
## 7-4 民間団体への参加による環境問題解決貢献の実感

民間団体の環境保全活動参加経験者の74%は、その活動への参加が環境問題の解決に「役立っている」と評価している。前回(68%)よりも大きく増加しており、その有用性は急速に強まっている。

民間団体の環境保全活動に参加したことがある人は、その活動への参加が環境問題の解決に「役立っている」(「非常に役立っている」と「まあ役立っている」の合計)と見ている人が74%を占め、「役立っていない」とみる人(「あまり役立っていない」と「全く役立っていない」の合計)は、20%を占める。

前回調査と比較すると、役立っていると実感している人は増えている(68%→73%)。

図表 7-10 活動への参加、社会貢献(全体、時系列)

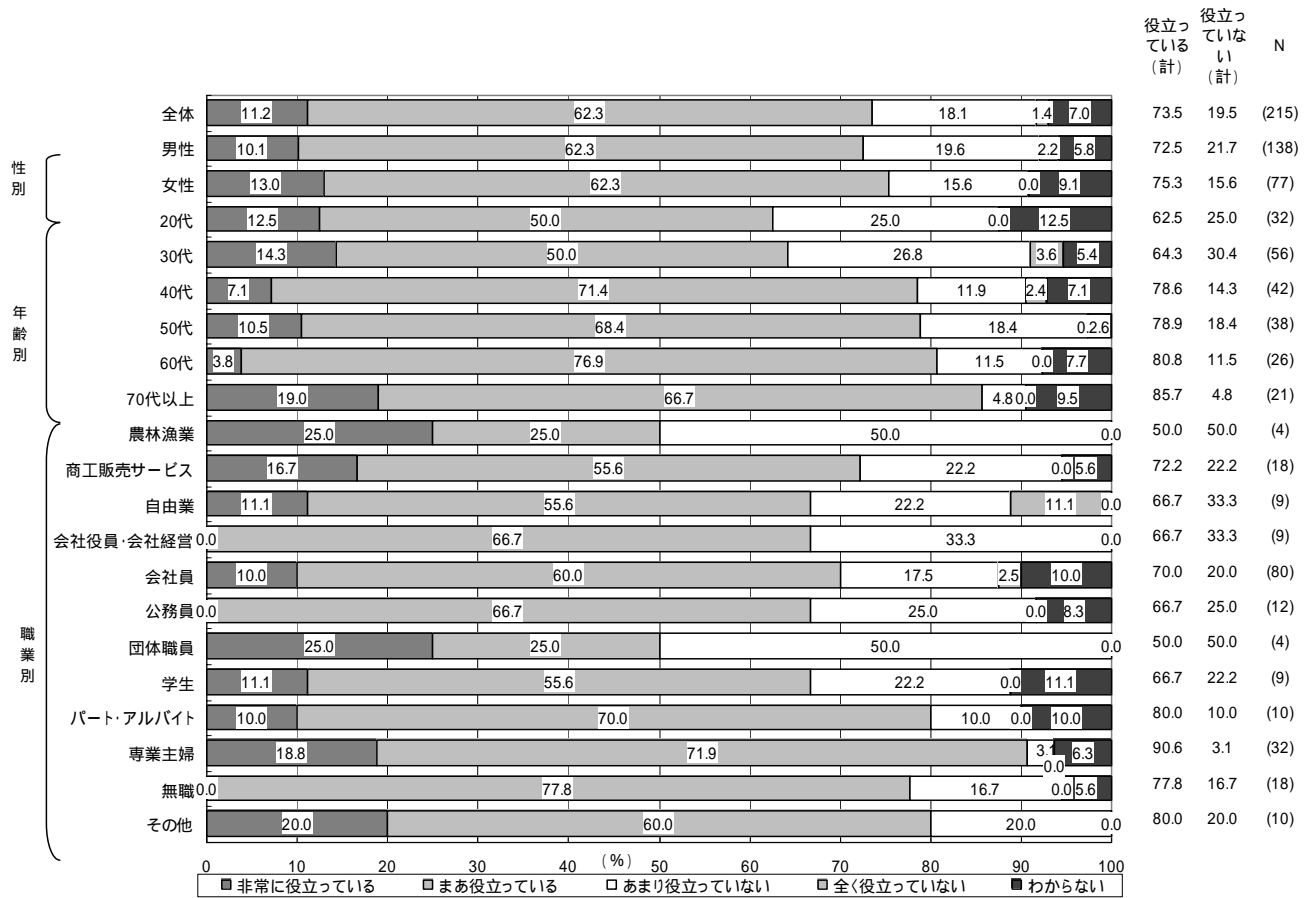


性別による差はあまり見られない。

年齢別では、高齢層になるほど「役立っている」の割合が高まる傾向がある。

職業別では、農林漁業、団体職員、専業主婦、その他で「非常に役立っている」(25%、25%、19%、20%)が高くなっている。

図表 7-11 活動への参加、社会貢献(性別、年齢別、職業別)



地域別では、「役立っている」が近畿(79%)、関東(78%)で高く、一方で北陸(54%)、中国・四国(50%)で低い。

都市規模別では、政令指定都市で「役立っている」の割合が高くなっている。

図表 7-12 活動への参加、社会貢献(地域別、都市規模別)

